

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業		評価者	秘書広報課担当課長 木村 雅行	
経企-09 広報事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課 秘書広報課 関連課	
総合計画上の位置付け	分野	市民自治	施策の方針	市民自治

1 事業の目的

対象	市民等
意図	市政情報その他の情報を的確に市民等に伝えるため。
効果	市民の市政への参加及び参画を推進し、市政等に対する理解を深めてもらう。

2 平成27年度に実施した事業の概要

・広報一般事務を行った。 ・広報かまぐらの発行を行った。 ・J:COM湘南、鎌倉エフエムによる市政番組の放送、広報板の維持・管理、ホームページの運用等の事業を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算		27年度決算		データ区分	28年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,464人	80,368世帯	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	66,040	67,663	当初予算(千円)	69,555			
	国県支出金		269	国県支出金				
	地方債			地方債				
	その他	6,079	5,199	その他	4,865			
	一般財源	59,961	62,195	一般財源	64,690			
	人員配置数	4.5	4.5	人員配置数	4.5			
事業経費運営	人件費(千円)	34,117	34,627	人件費(千円)	35,355			
	総事業費(千円)	100,157	102,290	総事業費(千円)	104,910			
	市民1人当りの経費(円)	564	577	市民1人当りの経費(円)	593			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか 関連・類似事業との統合はできないか	2. ない 2. 統合に向けた検討は可能
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか 事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい 今後も市が実施すべき事業か	3. 変わらずにある 2. 廃止・休止による影響は小さいがある 5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか 事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である 4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済 協働実施済の場合のパートナー 点訳赤十字奉仕団、朗読録音奉仕会、(株)ゼンリン
事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> その他 見直しの内容 広報かまぐらの更なる紙面の充実させるため、紙面の刷新を図るほか、各広報ツールの情報発信方法等の改善を図る。 事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 予算規模を維持しつつ、市民等のニーズに即した予算編成とするため。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	広報紙の紙面充実を図るため、事業費が増加するが、全体の事業費を維持しつつ改善を図る。事業の妥当性については、市民生活に関係する情報をはじめ、市政の情報の発信など市民ニーズは増えていくものであり、また、市からの情報発信も積極的に行う必要性があると考えている。 広報かまぐらは、全世帯に全戸配布しており、市の情報発信手段の基幹としつつ、情報化社会が発展する中、市民等が情報を入手する手段も多様化しており、様々な世代に多様な情報発信手段で発信できるよう取り組んでいくものであり、有効かつ公平であると判断している。 また、協働事業で音声版広報かまぐらや点字版広報かまぐらなどを制作しており、今後も継続していきたい。	

平成27年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	基幹広報ツールである広報かまぐらの更なる充実を図り、手に取ってもらえる広報紙の制作を進めるとともに、様々な広報ツールの活用と充実を進め、より積極的な情報発信をしていく必要がある。	
課題解決のために行った平成27年度の取組	子ども子育て世代を対象に情報を発信しているLINE@で、アンケートを実施し発信内容の充実を図った。 広報かまぐら1面のアウトソーシングを図り、デザインの充実に取り組んだ。レイアウトやデザイン性の向上に余地があり、さらなる改善を図る 広報かまぐらの記事をオープンデータ化し、記事の更なる活用を促した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	様々な広報手段の効果測定が課題。 また、効果的な広報活動に必要なパブリシティの積極的活用を含めた広報に対する意識改革を進める。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	広報紙頁数タブロイド判(上)、A4判(下)									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市	
他市実績	8・12	4・12・14	8	8	16・24	12・16	24	24	18	
比較事項	月発行回数									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市	
他市実績	2	2	2	2	2	1	1	1	1	
比較事項	広報紙1部当たりの発行単価									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市	
他市実績	8.9	23.5	7.1	9.0	23.8	12.2	39.3	54.3	35.2	
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	基幹となる広報紙発行に要するコストは、紙面の大きさで2極化している。平成27年度には、広報かまぐら1面のデザイン等をアウトソーシングを実施した。引き続き、手に取っていただける広報紙となるよう、他市のコストに注視しつつさらなる紙面の充実を図る。									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	市ホームページアクセス数(サイト全体の訪問数)						単位	件	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
コンテンツの充実等を図ることにより、ホームページを活用していただくため。	目標値	3,200,000	3,300,000	3,400,000	3,500,000	3,600,000	3,700,000				
	実績値	3,136,900	3,093,445								
	達成率	98.0%	93.7%								
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方											

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---